

蒔田小学校保護者様

横浜市立蒔田小学校
校長 高松 一彦

全国学力・学習状況調査結果報告と個票の返却について

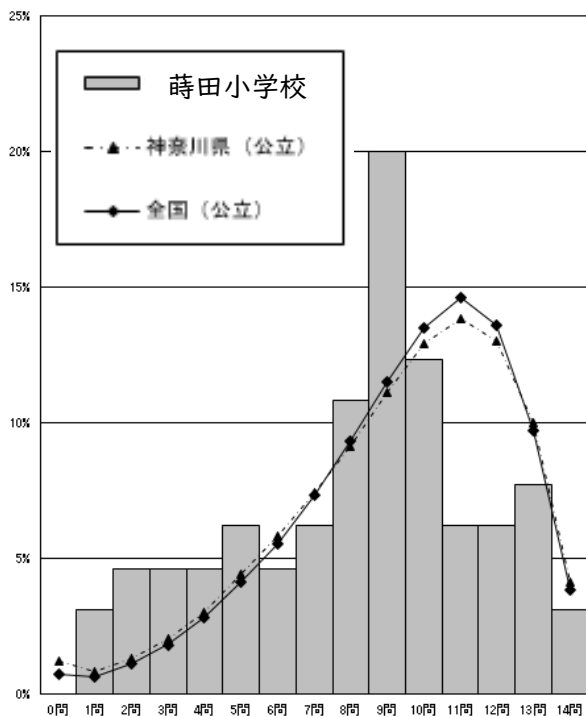
4月18日と19日に実施しました全国学力・学習状況調査の結果が明らかになりましたのでご報告いたします。

また、本日、お子さんに調査結果（個人票）を配布しました。お子さんの学習の成果と課題について、4月の調査後に持ち帰った問題用紙とあわせて、各ご家庭でもご確認いただけますと幸いです。

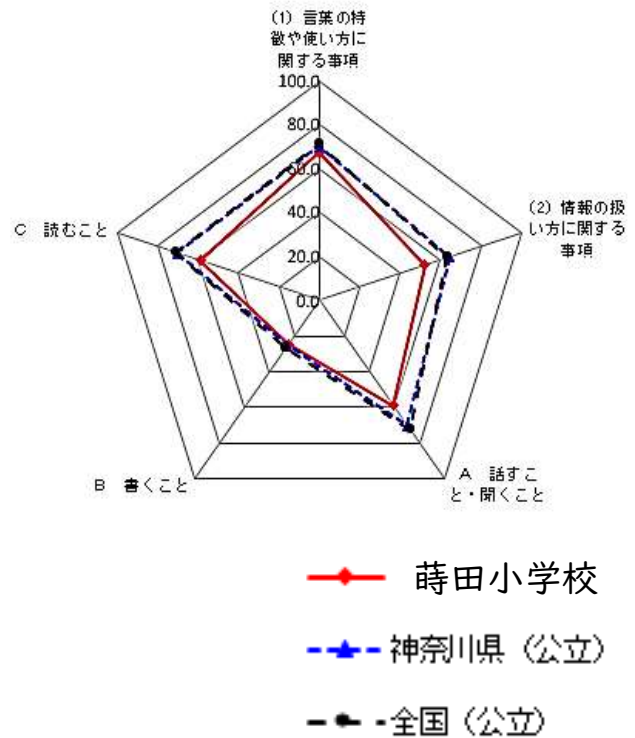
国語

	児童数	平均正答数	平均正答率(%)	中央値	標準偏差
横浜市立蒔田小学校	65	8.2 / 14	59	9.0	3.3
神奈川県（公立）	68,738	9.3 / 14	66	10.0	3.1
全国（公立）	964,177	9.4 / 14	67.2	10.0	2.9

正答数分布グラフ



学習指導要領の内容の平均正答率の状況

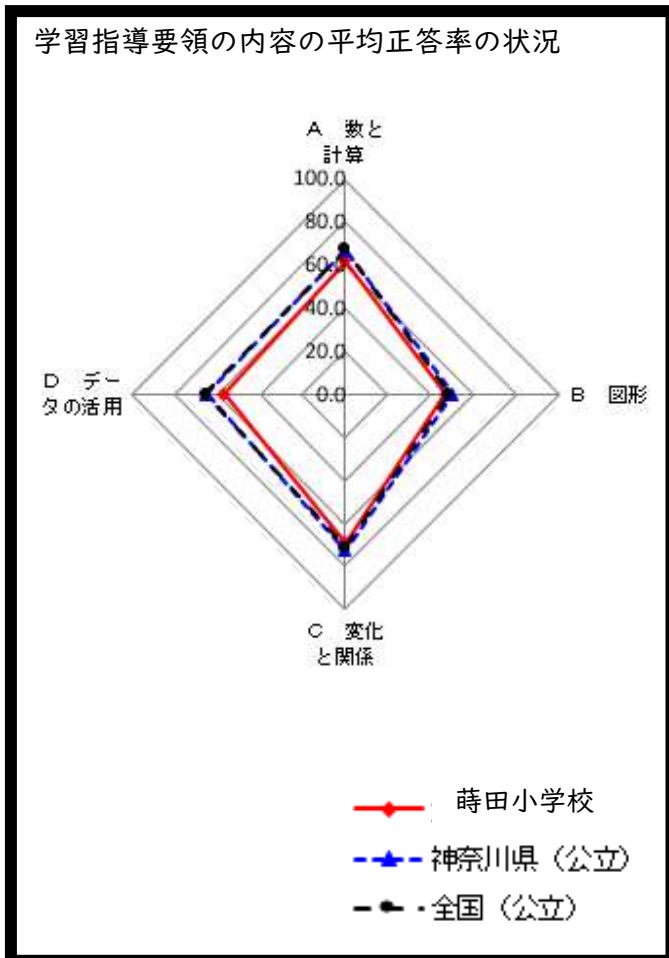
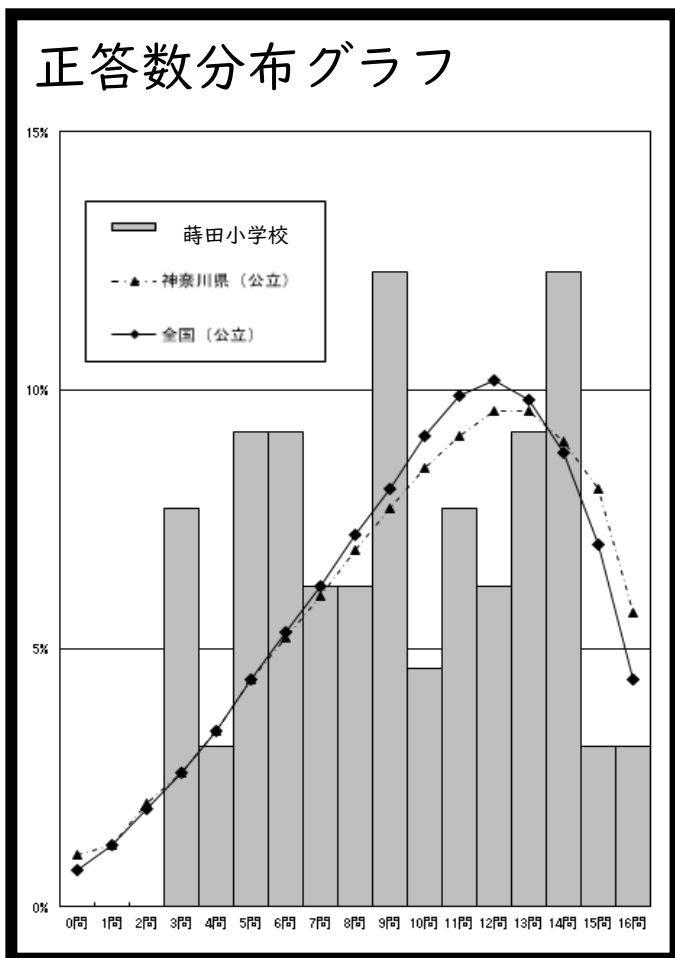


【国語】 内容・観点・形式別調査結果

分類	区分	対象問題数 (問)	平均正答率(%)			
			蒔田小学校	神奈川県(公立)	全国(公立)	
全体			14	58	88	67.2
学習指導要領の内容	知識及び技能	(1)言葉の特徴や使い方に関する事項	5	67.4	70.1	71.2
		(2)情報の扱い方に関する事項	2	52.3	64.3	68.4
		(3)我が国の言語文化に関する事項	0			
	思考力・判断力・表現力等	A 話すこと・聞くこと	3	58.0	70.4	72.8
		B 書くこと	1	24.8	25.8	28.7
		C 読むこと	3	58.0	70.4	71.2
評価の観点	知識・技能	7	63.1	68.5	68.9	
	思考・判断・表現	7	54.1	64.0	65.5	
	主体的に学習に取り組む態度	0				
問題形式	選択式	9	68.0	73.4	73.8	
	短答式	3	57.7	61.2	62.7	
	記述式	3	38.9	48.2	51.1	

算数

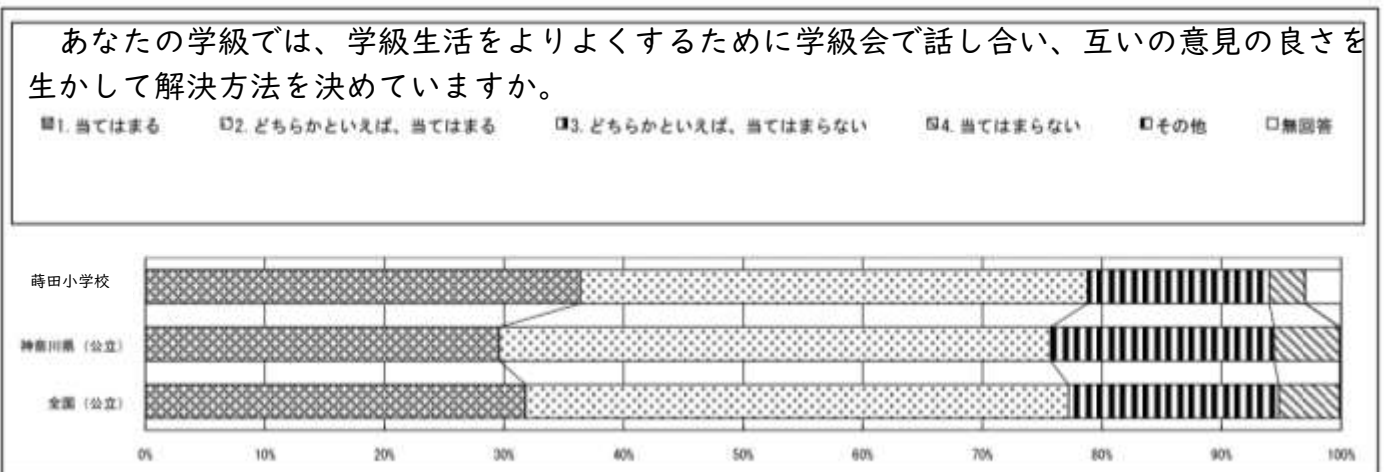
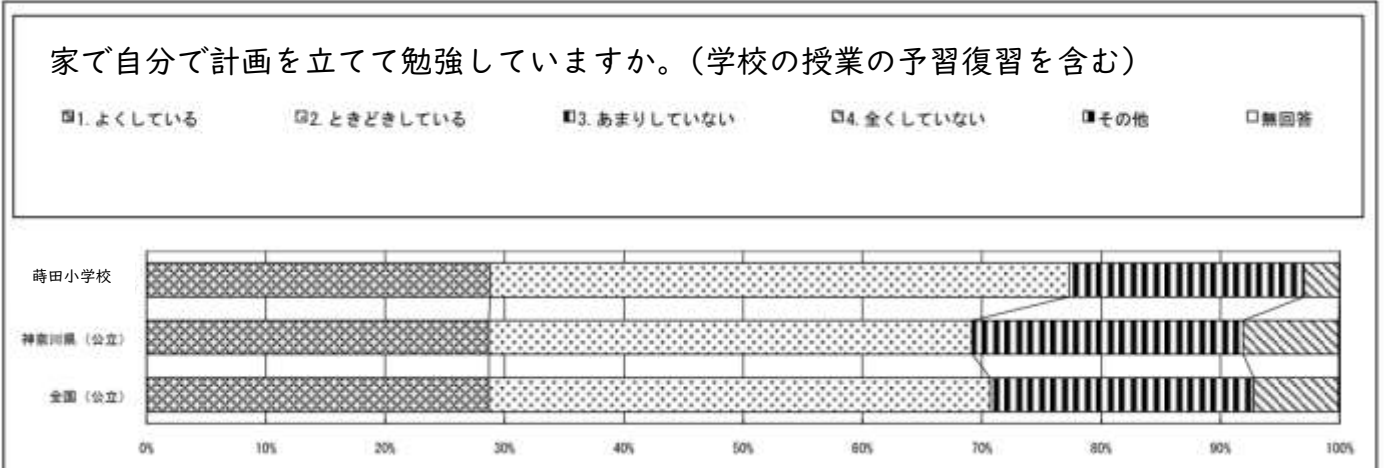
	児童数	平均正答数	平均正答率(%)	中央値	標準偏差
横浜市立蒔田小学校	65	9.3 / 16	58	9.0	3.8
神奈川県(公立)	68,739	10.1 / 16	63	11.0	3.9
全国(公立)	964,350	10.0 / 16	62.5	11.0	3.8



【算数】 内容・観点・形式別調査結果

分類	区分	対象問題数 (問)	平均正答率(%)		
			時田小学校	神奈川県(公立)	全国(公立)
全体		18	58	83	82.5
学習指導要領の領域	A 数と計算	8	62.1	87.1	87.3
	B 図形	4	46.9	50.0	48.2
	C 測定	0			
	C 変化と関係	4	68.8	72.3	70.9
	D データの活用	3	56.9	85.2	85.5
評価の観点	知識・技能	9	64.3	87.8	87.2
	思考・判断・表現	7	50.5	57.2	58.5
	主体的に学習に取り組む態度	0			
問題形式	選択式	5	54.8	58.2	57.7
	短答式	7	72.3	74.8	74.7
	記述式	4	38.1	47.8	47.3

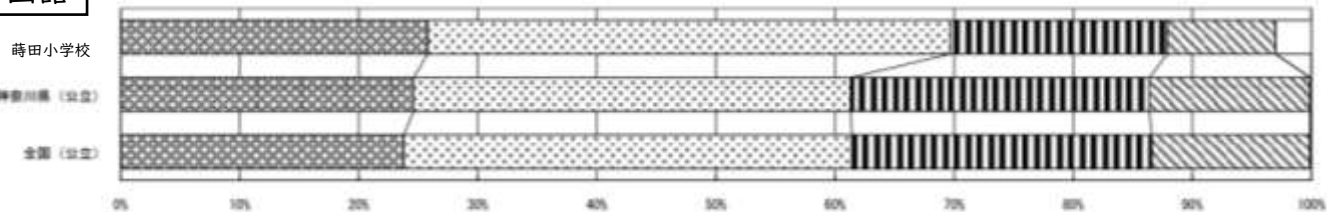
児童質問 ※特徴的なものを一部抜粋しました。



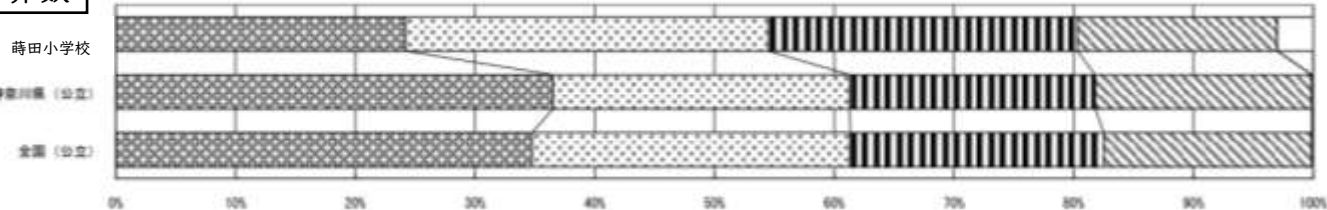
国語・算数の勉強は好きですか。

1. 当てはまる 2. どちらかといえば、当てはまる 3. どちらかといえば、当てはまらない 4. 当てはまらない その他 無回答

国語



算数



調査結果より

調査結果を読み解く(概要)

平均正答率は、全国・神奈川と比べ、国語、算数共に、およそ1ポイント低い。

「正答数分布グラフ」からは、国語、算数共に、学力が十分身につけていない児童の割合が全国・神奈川と比べて高いことが読み取れる。

「学習指導要領の内容の平均正答率の状況」のデータからは、国語『書くこと』の力が全国、神奈川と同様に大きく課題がみられる。国語では、「A 話すこと・聞くこと」「C 読むこと」「(2)情報の扱い方に関する事項」に、算数においては、「D データの活用」に課題があることが分かる。

「内容・観点・形式別調査結果」のデータから、形式別に全国と神奈川の平均正答率を比べてみると、国語においては記述式に9ポイントの差がみられ、算数においても、14ポイントの差がみられた。

生活意識を読み解く(概要)

生活学習意識を調査する「児童質問紙」からは、高い他者意識や、自分の学習を調整する力の高まりが見られる。協働的に学習する学級基盤も整っている状況がわかる。

国語、算数の意識調査では、本校が重点的に授業研究をすすめている国語においては学習意欲の高まりがみられる一方で、算数においてはやはり苦手意識が数値として高く表れている。

調査結果から、これからの蒔田小学校へ

複数の資料から、必要な情報をみとり、文章に表現する問題。答えを求める過程を論理的に表現したり、自分の考えとその理由を説明したりする問題に難しさを感じた児童が多かったようだ。また、問題数や読み取る文字数が多く、時間以内に読み取ったり処理したりすることができなかった児童も多いことが分かった。

基礎的な学力を今後も高めていけるように、発達段階に応じた丁寧な指導を行っていく。また、それらの力を活用し課題解決に取り組む授業づくりに向け、授業改善を行っていく。児童が、「できる、分かる、やればできる」という体験を積み重ねることができるよう授業を通して、自己肯定感や学習意欲を高めていく。